

ふくサポだより

福島県ため池サポートセンター vol.11_R5.12.26

ため池管理者等に対する 点検・管理に係る研修会の開催

福島県ため池サポートセンターでは、県内の各管内において、ため池管理に携わる地元の方々・土地改良区・市町村、県職員を対象に、「ため池管理者等に対する研修会」を開催しました。vol.10で紹介した会津管内を除き、左の表（表1）のとおり開催しました。

いわき	相双	県南	県中	県北
12/14	11/7	10/30	10/23	10/17
神下堤下池 (いわき市)	折ヶ沢東 ため池 (南相馬市)	大清水池 (棚倉町)	柏崎池 (須賀川市)	蛇ノ鼻中ノ池 (本宮市)
7名	16名	18名	14名	33名

(表1)

サポートセンターへの質問事項

ため池サポートセンターに寄せられた質問について紹介します。

Q 「池干し」とは何か？どんな効果があるか？

A 池干しとは、農閑期にため池の水を抜き、一定の期間ため池の底の泥を乾燥させることを言います。

池干しは、アオコの発生を抑えるなど、水質改善が見込めると言われています。そもそも、アオコの発生は栄養塩類（リンや窒素）などの富栄養化が原因です。

富栄養化した貯留水をため池から抜き、底泥を空気にさらして乾燥させることで底泥からの栄養塩類の溶出を抑制します。そして、新たに新鮮な水を貯留することにより、水質の改善が図られるといったメカニズムです。

また、アメリカザリガニなどの外来種による被害が生じている池では、池干しと合わせて外来種の駆除も行うことができます。

(本宮市：蛇ノ鼻中ノ池)



(棚倉町：大清水池)



(南相馬市：折ヶ沢東ため池)



ポイント① 堤体にはらみだしや陥没はないか

点検を行う際は、堤体の法面に「陥没」や「はらみだし」が無いかを確認しましょう。内部が不安定になっている可能性があります。

また、法面を歩いたときの地面の感触は、内部に水が浸みているかを判断する一つの目安になります。しばらく雨が降っていないなかったにもかかわらず、地面が柔らかく感じる場合は、付近を注視し、点検しましょう。



ポイント② 堤体表面の張石や積みブロックに損傷はないか

堤体表面に張石や積みブロックがある場合、亀裂等の損傷がないか確認しましょう。

軽微な損傷箇所を発見した際は、該当箇所を測定したのち、写真などの記録を残し経過観察を行いましょ。損傷箇所が拡大するような場合は、補修を検討するか、ため池サポートセンターまでご相談ください。



☎ 0 2 4 - 5 3 5 - 0 3 8 3

ため池管理者の方の相談窓口

受付日時

平日 9:00~16:00

※ 祝日、休日、年末年始を除く

農業用ため池管理者からの、ため池に関するご相談やお悩み等をお受けし、福島県の各農林事務所又は各市町村の担当部署へ対応の調整を致します。

福島県ため池サポートセンター

所在地 福島県福島市南中央三丁目36番地 (福島県土地改良会館内)

TEL 024-535-0383

FAX 024-535-0358

E-mail: tameike-support@midorinet-fukushima.jp

ホームページ: <https://www.midorinet-fukushima.jp/>

